

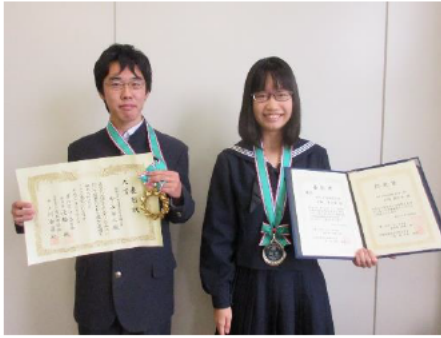


## 化学グランプリで向陽高校が快挙！！新たな歴史を刻みました。

化学グランプリ2018の一次選考が7/16(月)に行われ、全国で約4,000名の高校生がチャレンジしました。1次選考の成績上位者80名が8/17(金)、18(土)の二次選考に挑みました。各賞として、大賞5名、金賞15名、銀賞20名、銅賞40名が決定します。本校から環境科学科3年の中谷剛人君と環境科学科2年の小坂舞莉亜さんが二次選考に挑戦しました。中谷君が見事大賞を獲得、しかも総合成績1位となり、4000名の頂点、日本一となりました。また、小坂さんも銀賞を獲得、来年7月に行われる「第51回国際化学オリンピック フランス大会」の日本代表候補に選ばれています。小坂さんは、今後の選抜試験を経て、日本代表を目指しています。また、9月25日(火)の読売新聞和歌山欄にも大きく掲載して頂きました。



1番右が中谷君



中谷君と小坂さん

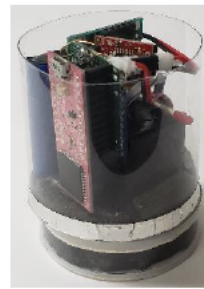


最前列左から4番目が小坂さん



## 缶サット甲子園 2018 全国大会で昨年に引き続き、賞を獲得！

10月6日(土)～8日(月)に缶サット甲子園2018全国大会が6年ぶりに和歌山のコスモパーク加太とイオンモール和歌山で行われました。地方大会を勝ち抜いた高校10校が集まり、缶サット(空き缶サイズの自作の模擬人工衛星)をモデルロケットに積んで打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競い、自分たちのミッションがどれほど意義のあるものかや、打ち上げの結果の考察等をプレゼンテーションで発表しました。地方大会を2位で勝ち抜いたSS探究科学Ⅱの物理ゼミの4名(環境科学科2年生)は、ベストミッション賞を受賞しました。審査員を務めた宇宙飛行士の山崎直子さんから「向陽高校のミッションは美しかった」と講評して頂きました。また、10月8日(月)の産経新聞和歌山欄に環境科学科2年の井上実柚さんのコメントを、スポンサーのローソンさんのローソン宇宙プロジェクトのページや山崎直子さんのツイッターにも本校生徒の活躍を掲載して頂きました。



本校の缶サット



## 今年度から普通科2年生文系でディベートを行っています。

「日本は遺伝子組み換え作物(GM)の販売を禁止すべきである。是か非か。」「日本は、商業捕鯨を再開すべきである。是か非か。」「日本は、サマータイム制を導入すべきである。是か非か。」といった内容でクラス内を3テーマの賛成派と反対派の計6グループに分け、ディベートを行っています。自分たちで立論し、自分たちの論理と相手の論理を戦わせています。自分たちの考えを伝え、戦わせたりする面白さを生徒たちは感じ、いつも白熱したディベートになっています。



ディベートを行っている様子